

【研究名】：ビスホスホネート製剤服用患者を対象とした口腔ケアの現状調査

【研究目的】

骨粗鬆症治療に使用されるビスホスホネート製剤(ボナロンなど)を服用している患者さんでは、重要な副作用として顎の骨が壊死してしまう顎骨壊死が知られています。顎骨壊死は抜歯などの歯科処置を受けた場合や、口腔内が不衛生な状態において起こりやすいと言われています。したがって、その予防のためにも口腔ケアを行い、口腔内を清潔に保つことは重要です。本研究では、ビスホスホネート製剤を服用している患者さんに対して医療従事者がどの程度口腔ケアについて説明し、実際に患者さんが口腔ケアを実践できているかを把握するための調査を行います。

【研究意義】

ビスホスホネート製剤を服用している患者さんに対する、口腔ケアの意識の向上や、副作用の早期発見が期待できます。

【調査の対象となる患者さん】

2016年1月～2016年6月の間に、愛媛大学医学部附属病院に入院中また外来でビスホスホネート製剤を服用された患者さん

【方法】

調査の対象となる患者さんに対して行った聞き取りの結果から、以下の項目を調べます。

性別、年齢、併用薬剤、服用開始時の受診勧奨実施率、歯科受診状況、歯周症状。

【研究実施期間】

2016年9月～2018年3月

【患者さんの個人情報の管理について】

「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に基づいて患者さんのプライバシーを守るよう努めています。結果の発表や出版に際しては個人が特定できるような情報は掲載しませんので、患者さんの個人情報が外部に漏れることはありません。

【研究実施体制】

研究機関： 愛媛大学医学部附属病院 薬剤部

研究責任者： 教授 荒木 博陽

研究分担者：

准教授 田中 亮裕

副部長 田中 守

室長 渡邊 真一

愛媛大学医学部附属病院 歯科口腔外科

講師 日野 聡史

【研究に関する問い合わせ先】

本研究からご自身の情報を除いてほしいという方は、下記の連絡先までお申し出ください。

また、本研究に関する詳細な資料を希望される方や詳細な情報を知りたい方は下記の連絡先まで連絡をお願いいたします。

研究責任者： 准教授 田中 亮裕

電話番号： 089-960-5731

e-mail: akiki@m.ehime-u.ac.jp